

コダイコガイ

分類：中腹足目 トウカムリ科(腹足綱)  
 学名：*Phalium areola*  
 英名：Draught-board helmet

太平洋の温帯から熱帯海域にかけて広く分布し、20~50mmのところろに生息する。螺塔は低く、殻は体層がやや膨み細長い球形状、乳白色の地に褐色の基盤目状の縦横の模様が鮮やかである。内唇はやや薄くヒダがあり、外唇は円く外側に反りかえり、外唇内縁には歯状の刻み目がある。

同属のタイコガイ (*Ph. bandatum*)は螺塔が尖って小さく体層は膨みが強く肩部に粒のようなイボが見られる。内唇はやや発達し水管の先端は背面で黒色に彩られる。



カンコガイ *Ph. glaucum*



カズラガイ *Ph. strigatum*



上から  
 タイコガイ *Ph. bandatum*



モクメダマ *Natica zebra* イボウラシマ *Ph. granulatum*  
 タガヤサンミナシ *Corus textile*



左より  
 イボウラシマ *Ph. granulatum*  
 スコシスポラ *Scotiastriata*  
 ツブレウラシマ *Ph. cicatricosum*



ヤブレタイコガイ *Ph. iredalei*



コダイコガイ



セネガルクマサカ

分類：中腹足目 クマサカガイ科(腹足綱)  
 学名：*Xenophora digitata*  
 英名：Carrier shell

大西洋の亜熱帯から熱帯海域に分布し、水深20m以深の砂礫底に生息する。殻は低い円錐形で螺層には顕著なる突起が見られ、表面には巻貝、二枚貝、石礫等を付着しているが、本種の生息する場所により、付着するものが異なる。和名は他の貝を奪い付着させるので、大盗賊熊坂長範の七つ道具をもっている姿に似ているところに由来する。脐孔は広く開き、内唇の滑層に被われる。蓋は薄い角質の卵形で核は側方に偏する。



セネガル クマサカ



オオクマサカ的一种 *X. pallidula*



20F セネガルクマサカ 45F アンゴラソデガイ *Strombus latus*  
 15F カガリタマガイ *Naticafanel*